

第2 経営類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標

第1に示したような目標の達成を可能とする効率的かつ安定的な農業経営の指標として、現に本市で展開している優良事例を踏まえつつ、本市における主要な経営類型についてこれを示すと次のとおりである。

1) 個別経営体

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
① 水 稲 + 大 豆 + 作業受託	<p><作付面積等></p> <p>水 稲 = 4.0ha 大 豆 = 2.0ha 水稲作業受委託 = 8.0ha (基幹3作業)</p> <p><経営面積></p> <p>水 田 = 6.0ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 育苗ハウス (216㎡) 1棟 トラクター (30PS) 1台 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 動力散布機 (26ℓ) 1台 循環型乾燥機 (30石) 2台 乗用管理機 1台 (大豆の刈り取り、乾燥調製は外部委託)</p> <p><その他></p> <p>水稲については、作業期間の拡大を図る。 農地の集団化や管理道の整備等により作業の効率化を図る。</p>	<p>○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。</p> <p>○青色申告を行う。</p> <p>○P Cを活用した経営管理を行う。</p> <p>○自己資本の充実を図る。</p> <p>○経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。</p> <p>○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。</p> <p>○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。</p> <p>○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。</p> <p>○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。</p>	<p>主たる従事者 1人 雇用労働者 あり</p>
② 水 稲 + 肉用牛 (繁殖)	<p><作付面積等></p> <p>水 稲 = 4.0ha 経産牛 = 40頭 飼料畑 = 4.0ha</p> <p><経営面積></p> <p>8.0ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>畜舎 (240㎡) 2棟 堆肥舎 (96㎡) 1棟 農機具舎 (93㎡) 1棟 マニユアスプレッダー (2,000kg) 1台 ロータリーモア 1台 ラウンドベラー (90cm) 1台 トラクター (38PS) 1台 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 動力散布機 (26ℓ) 1台 循環型乾燥機 (30石) 1台</p>	<p>○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。</p> <p>○青色申告を行う。</p> <p>○P Cを活用した経営管理を行う。</p> <p>○自己資本の充実を図る。</p> <p>○経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。</p> <p>○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。</p> <p>○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。</p> <p>○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。</p> <p>○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。</p>	<p>主たる従事者 1人 補助従事者 1人 補助従事者 0.5人</p>

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
③ 施設花き（バラ）	〈作付面積等〉 バラ = 0.28ha	〈主たる資本装備〉 作業舎（50㎡） 1棟 鉄骨ハウス（14a） 2棟 RWシステム（1条2系統） 2式 可搬式動力噴霧機（3PS） 1台 炭酸ガス発生機 2台 選花機（3,500本/h） 1台 冷蔵庫（9.7㎡） 1台 暖房機 4台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 0.5人 雇用労働者 あり
④ 水稲 + 菌床椎茸 + 大豆	〈作付面積等〉 水稲 = 3.5ha 大豆 = 1.0ha 菌床椎茸 = 2a 〈経営面積〉 水田 = 4.5ha	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫（150㎡） 1棟 育苗ハウス（216㎡） 1棟 トラクター（30PS） 1台 側条施肥田植機（乗用5条） 1台 自脱型コンバイン（3条） 1台 動力散布機（26ℓ） 1台 循環型乾燥機（30石） 1台 パイプハウス（203㎡） 4棟 培養棚（8段W1,800） 78台 暖房機 1台 空調機 1台 保冷库（3.3㎡） 1台 乗用管理機 1台 （大豆の刈り取り、乾燥調製は外部委託）	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 0.5人 雇用労働者 あり

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑤ 水 稲 + 露地野菜 (キャベツ) + 作業受託	<p><作付面積等></p> 水 稲 = 4.0ha キャベツ = 1.2ha 水稲作業受委託 = 5.0ha (基幹3作業) <p><経営面積></p> 水 田 = 5.2ha	<p><主たる資本装備></p> 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 育苗ハウス (216㎡) 1棟 トラクター (30PS) 1台 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 動力散布機 (26ℓ) 1台 循環型乾燥機 (30石) 2台 高床式作業車 (4PS) 1台 半自動定植機 (2.7PS) 1台 <p><その他></p> 水稲については、作業期間の拡大を図る。 農地の集団化や管理道の整備等により作業の効率化を図る。	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 0.5人 雇用労働者 あり
⑥ 施設野菜 (有機栽培：葉菜類)	<p><作付面積等></p> ほうれんそう = 0.8ha こまつな = 1.2ha 葉ねぎ = 0.6ha しゅんぎく = 0.4ha <p><経営面積></p> パイプハウス = 0.6ha	<p><主たる資本装備></p> 作業場兼収納舎 (66㎡) 1棟 パイプハウス (2a) 30棟 予冷庫 1台 トラクター (20PS) 1台 ロータリー 1台 肥料散布機 1台 袋詰め機 1台 播種機 1台 <p><その他></p> 輪作体系を組み、施設利用率の向上を図るとともに連作障害を回避する。	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 雇用労働者 あり

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑦ 水 稲 + 果樹 (柿)	〈作付面積等〉 水 稲 = 4.0ha 西条柿 = 1.5ha	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 育苗ハウス (216㎡) 1棟 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 循環型乾燥機 (30石) 1台 可搬式動力噴霧機 (2.9PS) 1台 自走式動力運搬車 (クローラ6PS) 1台 スピードスプレーヤー (500ℓ) 1台 ハンマーナイフモア (8PS) 1台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 0.8人 雇用労働者 あり
⑧ 水 稲 + 果樹 (ぶどう)	〈作付面積等〉 水 稲 = 4.0ha ピオーネ = 0.25ha シャインマスカット = 0.25ha	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 育苗ハウス (216㎡) 1棟 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 循環型乾燥機 (30石) 1台 可搬式動力噴霧機 (2.9PS) 1台 自走式動力運搬車 (クローラ6PS) 1台 かん水施設 (スプリンクラー) (0.5ha) 1式 パイプハウス (棚兼用) (50a) 1式 梱包機 1台 ハンマーナイフモア 1台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 1人 雇用労働者 あり

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑨ 果樹 (ぶどう) + 露地野菜 (キャベツ、なす、あずっこ)	〈作付面積等〉 ピオーネ = 0.25ha シャインマスカット = 0.25ha キャベツ = 1.5ha なす = 0.1ha あずっこ = 0.1ha	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫 (50㎡) 1棟 パイプハウス (棚兼用) (50a) 1式 可搬式動力噴霧機 (2.9PS) 1台 自走式動力運搬車 (クローラ6PS) 1台 トラクター (27PS) 1台 高床式作業車 (4PS) 1台 半自動定植機 (2.7PS) 1台 かん水施設 (スプリンクラー) (0.5ha) 1式 梱包機 1台 ハンマーナイフモア 1台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 1人 雇用労働者 あり
⑩ 果樹 (梨)	〈作付面積等〉 梨 = 1.0ha 〈品種内訳〉 幸水 = 40a 豊水 = 40a 愛宕 = 10a 新高 = 10a	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫 (50㎡) 1棟 スピードスプレーヤー (500ℓ) 1台 自走式動力運搬車 (クローラ6PS) 1台 多目的網掛け専用棚 (1ha) 1式 かん水施設 (スプリンクラー) (1ha) 1式 ハンマーナイフモア (7PS) 1台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 雇用労働者 あり
⑪ 施設花き (花壇苗等)	〈作付面積等〉 ガーデニングシクラメン = 0.1ha 花壇用苗物 = 0.15ha 野菜苗 = 0.1ha	〈主たる資本装備〉 作業舎兼格納庫 (66㎡) 1棟 パイプハウス (3.6a) 6棟 育苗ハウス (150㎡) 1棟 温風式暖房機 6台 動力噴霧機 (5PS) 1台 用土混合機 (2,000ℓ) 1台 用土詰機 1台	○複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ○青色申告を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○家族経営協定の締結により、経営における担当の明確化・専任制を設ける。 ○休日制・給料制を実施し、労働条件を整備し、後継者の確保しやすい環境を整備する。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○農繁期における臨時雇用従事者の確保に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 0.8人 雇用労働者 あり

2) 組織経営体

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑫ 果樹（梨）	<作付面積等> 梨 = 7.0ha <品種内訳> 幸 水 = 3.00ha 豊 水 = 3.00ha 愛 宕 = 0.50ha 新 高 = 0.50ha	<主たる資本装備> 作業舎兼格納庫（150㎡） 1棟 多目的網掛け専用棚（兼用棚）（7ha） 1式 かん水施設（スプリンクラー）（7ha） 1式 自走式動力運搬車（クローラ6PS） 1台 スピードスプレーヤー（1,000ℓ） 1台 ハンマーナイフモア 1台 ミニバックホー（0.8t） 1台	○明瞭な会計処理を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○休日制・給料制を実施し、労働環境の充実を図る。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○有給休暇の拡充 ○社会保険等への加入 ○福利厚生の実施 ○健康診断の実施 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。	主たる従事者 4人 雇用労働者 あり
⑬ 養豚 (繁殖肥育一貫経営)	<作付面積等> 繁殖豚 = 500頭	<主たる資本装備> 繁殖豚舎（500㎡） 5棟 分娩豚舎（500㎡） 3棟 肥育豚舎（1,500㎡） 5棟 堆肥舎（1,150㎡） 1棟 自動給餌機 10台 堆肥攪拌機 3台 堆肥発酵機 3台 ショベルローダー 2台 トラクター（50PS） 1台 トラック（2t、4t） 2台	○明瞭な会計処理を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。 ○良質な堆肥生産を行う。	○休日制・給料制を実施し、労働環境の充実を図る。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○有給休暇の拡充 ○社会保険等への加入 ○福利厚生の実施 ○健康診断の実施 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。	主たる従事者 1人 雇用労働者 あり

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑭ 果樹 (ぶどう) + 施設野菜 (いちご)	<作付面積等> ピオーネ = 0.6ha シャインマスカット=0.45ha いちご = 0.5ha	<主たる資本装備> 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 かん水施設 (スプリンクラー) (1ha) 1式 パイプハウス (ぶどう・棚兼用) (1ha) 1式 自走式動力運搬車 (クローラ6PS) 1台 ミニバックホー 1台 梱包機 1台 スピードスプレイヤー (500ℓ) 1台 パイプハウス (いちご) (21a) 1棟 島根型養液栽培システム関連 1式 温風式暖房機 1式 炭酸ガス発生機 1式 育苗用ハウス (360㎡) 1棟 動力噴霧機 1台	○明瞭な会計処理を行う。 ○PCを活用した経営管理を行う。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○休日制・給料制を実施し、労働環境の充実を図る。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○有給休暇の拡充 ○社会保険等への加入 ○福利厚生の実施 ○健康診断の実施 ○機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。	主たる従事者 2人 雇用労働者 あり

3) 集落営農型の農地所有適格法人

経営類型	経営規模	生産方式	経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑮ 水 稲 + 大 豆 + 作業受託	<作付面積等> 水 稲 = 8.0ha 大 豆 = 3.0ha 水稲作業受託 = 6.0ha (基幹3作業) <経営面積> 水 田 = 11.0ha	<主たる資本装備> 作業舎兼格納庫 (150㎡) 1棟 育苗ハウス (216㎡) 1棟 トラクター (30PS) 1台 側条施肥田植機 (乗用5条) 1台 自脱型コンバイン (3条) 1台 動力散布機 (26ℓ) 1台 循環型乾燥機 (40石) 2台 乗用管理機 1台 (大豆の播種、刈り取り、乾燥調製は外部委託) <その他> 水稲については、作業期間の拡大を図る。 水路、畦畔管理等は集落全体の共同作業を活用する。 土作りや水路・農道整備等、中長期の見通しに基づく土地改良に努める。	○パソコン簿記の利用等、経営管理の透明性と信頼性を高める。 ○原価計算に基づく原価把握と経営改善に努める。 ○直接支払事業等の活用を図る。 ○自己資本の充実を図る。 ○経営体内部の役割分担を図る。	○休日制・給料制を実施し、労働環境の充実を図る。 ○休息時間の確保や薬剤散布時の防除衣着用等により作業環境の改善を図る。 ○女性、高齢者、兼業農家など多様な人材を登用し、集落内労働力を確保する。 ○集落全体で後継者育成に努める。	主たる従事者 1人 補助従事者 2人

第2の2 経営類型ごとの新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の指標

第1に示したような目標の達成を可能とする新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の指標は、第2に掲げる経営類型に準ずるものとする。ただし、所得目標については、農業経営開始から5年後には農業で生計が成り立つ年間農業所得(効率的かつ安定的な農業経営の目標の8割程度の農業所得、すなわち主たる従事者1人当たりの年間農業所得概ね280万円程度)とする。